



三春地区、田村地区、大玉村その他の地区へ分散避難、個人の伝を頼っての避難と富岡町民はバラバラになってしまいました。

しかし、思いは同じ、必ず富岡へ帰るぞ、との信念です。



避難当時は未だ極寒の日々、そして今 酷暑の日々 苦痛の日々は続く。



(同級生は元気でした)